



ピアノの中を覗いて見たことありますか？ピアノの音がどうやって鳴るか知っていますか？
調律師だけが知っている「魅力的な音色をつくるワザ」伝授します！

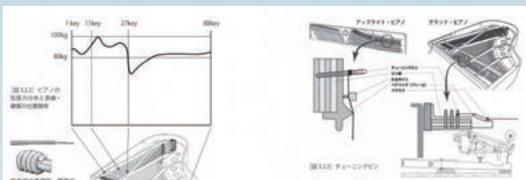
きたい内部構造、打鍵やペダルのメカニズムなど、痒いところに手が届く紙上レクチャーが展開されています。

用語集も兼ねた索引や、グランド・ピアノ、アップライト・ピアノそれぞれの各部名称図も完備。

特筆すべきは、ピアノ内部や各部分を細かく描いたイラストの数々。本書を出版するために一念発起した青山さんが、プロのイラストレーターが使うPCソフトをイチから習得して描いたオリジナルです。

こちらでためし読みができますので、ぜひイラストも含めてご覧ください。

<https://hanmoto7.tameshiyo.me/9784865592344>



演奏する人にも、聴くだけの人にも、調律師を志す人にも、おすすめしたい充実の1冊です！

青山一郎プロフィール

ピアノ調律師。1948年大阪市生まれ。日本楽器大阪ピアノ技術研究所を卒業後、日本楽器大阪支店ピアノ技術課に入社。1979-83年西ドイツDöll社(ハノーファー)に招聘され渡欧。在欧中、アッシジ音楽祭(イタリア)の専属調律師を4年間担当。帰国後、大阪音楽大学「ザ・カレッジオペラハウス」の調律師を開館以来担当。また1997年から20年間、同大学「ピアノ構造論」の講義を受け持つ。定年後も同大学付属音楽院や他大学でも講演をおこなっている。現在、株式会社ヤマハミュージックリテイリングピアノ技術部に所属。



1冊でわかる
ピアノのすべて
調律師が教える歴史と音とメカニズム

アルテスパブリッシング
2,420円(税込)
青山一郎著

演奏者の体よりも大きく、ひとりでは持ち上げられないほど重く、普通は調律師も人まかせ、レッスンに自分の楽器をもっていくこともできない――。

そんな不思議な楽器、ピアノのことをいざばんよく知っているのは、調律師ではないでしょうか。映画化もされた宮下奈都さんの小説『羊と鋼の森』でピアノ調律師の世界に関心をもつようになった人も多いかもしれませんね。

ドイツのピアノ会社に招聘されて渡欧し、イタリアの音楽祭の専属調律師もつとめたベテラン調律師・青山一郎さんが、大阪音楽大学で長年おこなった講義の内容を、このほど『1冊でわかるピアノのすべて——調律師が教える歴史と音とメカニズム』という書籍として出版しました。

「ピアノのことなら何でも知りたい！教えたてい！」という「ピアノ愛」に導かれ、時には脱線や寄り道もしながら、「モーツァルトがびっくりしたピアノ」「ショパンの弾いたとんでもないピアノ」「信長とピアノ」といった知られざる歴史エピソードなどピアノが誕生してから現代までのヨーロッパ、そして日本における歴史、誰もが悩む音律の問題、演奏者なら知ってお

今注目の楽譜 & 音楽雑貨

ブラインドタッチ・エチュード ～初見力・読譜力が格段にUpする～

共同音楽出版社 1,320円(税込) 普久原朝和著



手を見ないで弾くこと(ブラインド・タッチ)を身に付けるための練習曲集。16小節の短い曲で構成されていて、初歩的な5度の音階から徐々に動きや音を増やすことで無理なくブラインドタッチが身につけられます。

プレ・ソナチネ

東音企画 1,210円(税込)
赤松林太郎監修

ソナチネ・アルバムまでに必要なエッセンスを凝縮。41曲の小品を通じて古典派の様式感と演奏技術を学びます。赤松林太郎先生監修のもと、豊富な指使いや解説を収録。ピアノを始めて間もないお子さまでも取り組める教材です。



【著者関連商品】

ブルグミュラー25の練習曲
徹底活用ガイド
東音企画 1,540円(税込)



3年後、確実にクラシック・ピアノが弾ける練習法 ベートーヴェン編 CD付

リットーミュージック
2,750円(税込)
赤松林太郎著

無理のない練習計画で、ベートーヴェンの楽曲が弾けるようになるまでをサポート！バイエル習得者でも3年後にベートーヴェンが弾けるようになる練習法を解説します。



【著者関連商品】

3年後、確実にクラシック・ピアノが弾ける練習法
ショパン編(CD付)
リットーミュージック 2,750円(税込) 赤松林太郎著

ぴあのどリーむワーク・ブック 4/5【解答付き】

学研プラス 1,430円(税込) 田丸信明著



答え合わせが簡単に出来るようになり、オンラインレッスンや自宅学習で使用しやすいようになりました。

サン＝サーンス ミーツ ポップス!

カワイ出版
1,760円(税込)
中谷幹人編曲

2021年が没後100年となるサン＝サーンスの「動物の謝肉祭」全曲を様々なボビュラーのスタイルでリメイクする。



【こちらもオススメ!】

全音ピアノ・ピース563
サン＝サーンス
《動物の謝肉祭》メドレー
550円(税込)

贅沢なアレンジのメドレー



Piano Lesson 88編集部：株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8

TEL 03-3866-2221 (担当：笹沼・川中)

バックナンバーをプリマ楽器ウェブサイトでご覧いただけます!

閲覧・ダウンロードはこちら

プリマ楽器 検索

<http://www.prima-gakki.co.jp/news88/>



「ピアノレッスン88」の読者の皆様こんにちは！今月も引き続きベートーヴェン先生の使用したピアノについて解説させていただきます。いよいよウィーン式のピアノに、イギリス式のピアノが加わります。どのような対応をし、作品を作り上げていったのでしょうか。是非レッスンの参考にして頂きたいと存じます。 岳本恭治

第三期：1802年～1809年頃 ウィーン時代中期①

前号の通り、1802年に「ハイリゲンシュタットの遺書をしたためましたが、克服し再度立ち上がったベートーヴェンは「傑作の森」の時期に入ります。最も有名な「運命」や「田園」もこの時期の作品です。

◎ウィーンの家では、前号で言及したヴァルターのピアノとヤケッシュ（ウィーンに工房があった）製のピアノを使用していました。この頃友人のライヒャを介して、フランスのピアノ製作者エラルと接点を持つようになり、ついに1803年にパリのエラルより1台のピアノが贈られました。現存するベートーヴェンの使用した3台のピアノの内の1台になります。この楽器は、今まで使用していたピアノより高音域が5度広がり、F1-c4までありました。弦も1音に対して2本から3本に増え、ペダルも足ペダルが4本になりました。

- ①ダンパー・ペダル（現代のグランド・ピアノの右側のペダル）
- ②バフ・ペダル（柔らかい皮のパッドが弦に触れ、振動を抑制された音色）
- ③バスーン・ペダル（中・低音域の弦に紙を当てピリつかせたバスーンのような音色）
- ④シフト・ペダル（現代のグランド・ピアノの左側のペダル）

最も問題になったのはアクションで、今までベートーヴェンが慣れ親しんでいたウィーン式のアクションと異なるイギリス式のアクションであったことです。このアクションは、ウィーン式よりも鍵盤が深く沈むのでタッチが重たく、ベートーヴェンにとって弾みにくく感じるピアノで、ウィーン式の軽快で明快な響きがなく、早いパッセージには向いていませんでした。一方この楽器は和音が豊かに鳴り、

低音域の音量がかなり大きく出せる優れた性能に感心しましたが、この重たいタッチへの嫌悪感はかなりなもので、「ピアノの作品を書くのはいやだ！」と感想を述べています。



岳本 恭治

◎この頃の作品には、「ソナ（日本J.N.フンメル協会会長）タハ長調作品53（ワルトシュタイン）」、「ソナタへ短調作品57（熱情）」があり、ベートーヴェンはこの楽器が嫌いでも、「ワルトシュタインソナタ」では、第1楽章の冒頭は低音の重音の連打で開始され、「熱情ソナタ」では、力強い和音が活躍します。拡大された音域も最大限に発揮され、ピアノ協奏曲第4番の中でも、低音域と高音域のコントラストが華々しく表現されています。しかしながら気に入らない楽器でもあり、さらに故障も多くなってしまい、1806年から1808年の3年間はピアノ・ソナタを作曲しませんでした。では、中期②のピアノは次号でご紹介しましょう。皆さんお元気で！

information



「ピアノ・練習方法ガイドブック」

岳本恭治著
1,980円（税込）サーベル社
好評発売中！

岳本 恭治 Kyoji Takemoto

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科及び国立音楽院ピアノ調律科卒業。ロンドン・トリニティカレッジグレード・ディプロマ取得。演奏活動と共にピアノ構造学・改良史・奏法史の研究者としてレクチャー、コンサートを国内外で行う。ムジカノーヴァ誌等に執筆。スロヴァキア国際フンメル協会より「フンメル賞」を受賞。著書「ピアノ大全」、「江戸でピアノを」及び楽譜「フンメル作品集」「フンメル60の練習曲集」「リスト・3つのカンパネラ」等多数。現在、日本J.N.フンメル協会会長、スロヴァキア国際フンメル協会名誉会員、国立音楽院講師、全日本ピアノ指導者協会（PTNA）正会員。岳本先生ホームページ：<http://hummel1778.com/>

突然の「緊急事態宣言」に日本中がその対応に追われ、そんな生活も一年以上が過ぎました。そしてまだまだその生活を引きずりながらの新年度がスタートしました。暖かさも加わり、草花も咲き乱れ、やっぱりこの季節は心うきうきします。どの生徒の顔も、新しい環境に緊張しながらも嬉しそうです。

先日の事です。小4になったH君が嬉しそうな顔でレッスン室に入るなり「ぼくね、選考会に受かったんだよ！だから毎日練習頑張るんだ〜(^^)」母親の説明によると…サッカーのエスパルス・ジュニアクラスに合格したようで、練習はかなり厳しい…とのこと。そしてピアノのレッスンの話になりました。今までレッスンしていた曜日・時間は当然のようにサッカーの練習になるそうです。H君に「どうしたい？」と聞いてみました。すると「ぼくピアノ続ける！」「あつ、そお〜。じゃあ先生、H君のやりたい気持ちを応援するよ！」お母様は「ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。」

とまあ〜話は簡単！1分で終わりました。つまり、お互い何とか時間を工夫して月の予定レッスン回数を、変動的に決めてやっていくことになりました。やはり生徒の気持ちを大切に考えると、こういう形もありなのかな…と思いました。めったに自分から思いを言わないH君だからこそ、今回の本人からの強い「やりたい宣言！」はこちらも深く受け止めなければ…と思いました。

生徒がある程度大きくなってくると自分の意見・考えを持つようになります。日ごろから生徒と接していて、個々の生徒の“本音・本気”を見落とさないようにしなければ…と、常々思います。

コロナ禍、「新しい生活様式」に大人以上にすんなり順応している子供たち…この一年、精神的にも肉体的にもしっかり成長しているということを改めて感じる今回の年度変わりです。

新しい環境にキラキラ目を輝かせている生徒たちを見て「こちらものんびりしてられないわ。動き出さねば！」そんな気持ちにさせてくれる生徒たちに、改めて「感謝〜いつもありがとう！」そう言うとおもいきりハグしてチューしたい気持ちです。(＊^A^＊)

【岩瀬洋子によるピアノ導入指導講座】全7回
2021年度 カワイ表参道コンサートサロンパウゼにて、いよいよ開催決定！録画受講もできます！

- ① 4/21（水）10:30~12:30
「未来につながる教室作り…さあ勇気を持ってチャレンジ！」
※ご興味をお持ちの方は、まずはこの講座を。その後の講座内容など概要などもお話しします。
- ② 6/2（水）10:30~12:30
「譜読みの前に/教師が見落としがち/実は大きな落とし穴が」
- ③ 7/7（水）10:30~12:30
《譜読み完成のカギは？》
- ④ 9/15（水） ⑤ 10/20（水） ⑥ 11/24（水） ⑦ 1/12（水）

【田村智子 2021年度ライブ及び動画講座】
FBまたは♪ミュージックキーにお問合せください。
♪ミュージックキー-お問合せはmusickey@musickey-piano.com ♪
HPは<http://www.musickey-piano.com/>

日々のレッスンを前向きに見つめ直すことで、より効果的なレベルアップを望むことができる「ミュージックトレーニングノート」再発！！

本田選手やイチローなど、アスリートも日々行っている自己分析の蓄積により、目標へ近付くことができます。



ミュージックトレーニングノート
定価 308円（税込）
PRIMA GAKKI